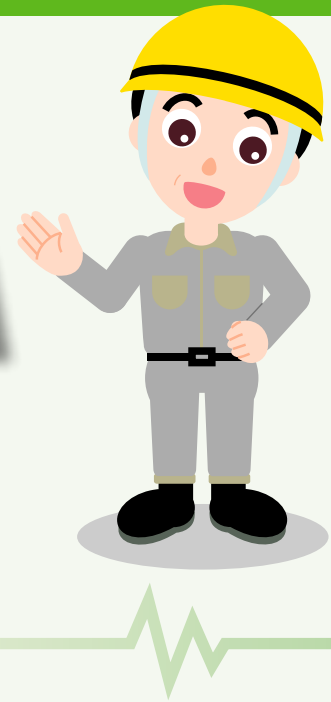


地震は、 いつ起こるか わからない！



いざと言うときのために○○○○
今、自分たちで出来ること○○○○

出来ることから
はじめよう！



「新潟県中越沖地震(2007年)での住宅被害」
写真提供: 首都大学東京 土質工学研究室

地震被害から、我が家を守ろう！
まずは、耐震診断から始めましょう！

あなたのお家の耐震診断・ 耐震補強は、お済みですか!!

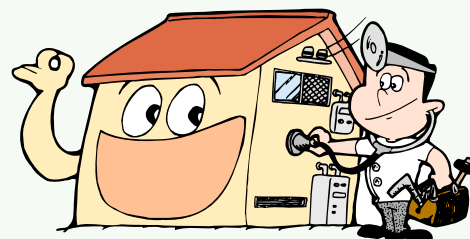
近年、全国各地で規模の大きな地震被害が多発しており、建物の倒壊による圧死等で多くの犠牲者が出ています。その地震被害を教訓として、建築基準法の改正、さまざまな法令の制定・補助の整備が行われてきました。栗東市においても、木造住宅の無料耐震診断・補強案の作成、及び、耐震改修補助を行っています。

耐震診断から耐震補強までのながれ

1. 専門家による無料耐震診断の実施

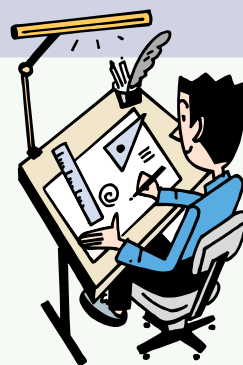
【無 料】

56 5 31



2. 補強案の作成

0.7
0.7



3. 耐震補強工事

耐震補強工事を行う場合、工事費用に応じて補助が受けられます。

工事費用が50万円を超える改修工事に対して、**工事費用の80%または100万円の低い額を補助**します。また、改修方法等により、補助金の加算を受けられる場合があります。

補助を受ける場合、一定の要件がありますので、**事前に市役所までご相談下さい。**



耐震診断の必要性

耐震診断を受けることによって……

「私の家は、耐震診断を受けなくても診断結果が悪いことは分かっているから……。」と思っておられるかもしれませんが、具体的にどこがどう悪いのかまでは、分からないのではないのでしょうか。

耐震診断報告書は、総合評価が数字で表され、計算式がたくさん載っているのですが、一見分かりにくいかも知れませんが、建物のどの部分が弱いのか、バランスがどのように悪いのかなど、今住んでいる家がどのような状態であるのかを知ることができます。また、この結果を基にどこを補強すれば強くなるのかなどのアドバイスを受けることができ、そこから補強に掛かる費用の目安なども知ることができます。

住まいの弱点を知り、現在の生活の仕方や建物の利用の仕方を見直すだけでも、災害が起こった時の結果は、大きく違ってきます。地震対策の第一歩となる耐震診断をぜひ受けてみて下さい。

耐震補強工事で、どこを補強すれば良いの？

1. 壁の補強

既存の壁に筋交いが入っていない場合、「壁に筋交いを入れたり、構造用合板を張る、壁をバランス良く補強する」ことによって、地震に対しての抵抗力が上がります。

2. 基礎の補強

玉石の基礎を鉄筋コンクリートの基礎に直したり、ひび割れの入った鉄筋コンクリートの基礎の補修を行うことによって、強さが上がります。

3. 劣化度の改善

柱や梁、土台などの腐朽している部分や経年による劣化等の改修を行った場合には、劣化に対する強度が上がります。

4. 屋根の軽量化

瓦などの重い屋根の場合は、軽い屋根に葺き替えて、屋根を軽くすることによって、耐震性が上がります。



耐震補強以外に、地震に対して備えておくと良いものは……

阪神・淡路大震災の被害が大きくなった主な原因には、タンスや本棚、食器棚などの家具類の転倒、食器類の飛散により避難できなかったことがあげられます。建物の耐震補強工事をするだけでなく、家具の転倒防止や食器類の飛散防止などの措置をすることも地震に対する備えとなります。

また、室内に設置するタイプで耐震シェルターや耐震ベット、耐震テーブルなど比較的安価なものもあり、付近に避難グッズや保存食を置いておくことで一時的な避難場所の確保ができます。

※なお、市役所から補強工事の勧誘や耐震関連商品の斡旋・販売をすることはありません。最近、悪質業者によるリフォーム詐欺が増えていますので、工事依頼をする場合は、十分ご注意ください。おかしいと思ったら、市役所にお問い合わせ下さい。

耐震診断の評価の仕方

一般診断法による診断

I. 上部構造の評点 (Pd/Qr)

(凡例)

階	方向	強さ P (kN)	壁の配置 E	劣化度 D	保有する耐力 Pd (kN) = P * E * D	必要耐力 Qr (kN)	上部構造評点 Pd/Qr	上部構造評採用値
2階	X方向	40.03	1.00	0.75	30.02	32.40	0.93	
	Y方向	30.29	1.00	0.75	22.72	32.40	0.70	
1階	X方向	89.21	1.00	0.75	66.91	109.01	0.61	
	Y方向	63.28	0.90	0.75	42.71	109.01	0.39	●

II. 各部の評価

(凡例)

III. 総合評点

(凡例)

項目	評価		
地盤・地形・基礎	普通	平坦・普通	無筋コンクリート基礎
壁の配置 E	0.90		
劣化度 D	0.75		
評点 Pd/Qr	0.39		

上部構造評点	評点	判定
0.39	1.5以上	◎倒壊しない
	1.0以上～1.5未満	○一応倒壊しない
	0.7以上～1.0未満	△倒壊する可能性がある
	● 0.7未満	×倒壊する可能性が高い

IV. 所見 補強方法 その他注意事項

(凡例)

【所見(例)】

- 基礎に鉄筋が無く、柱の接合部に適切な金物を使用されていないため、地震に対する抵抗力が不足しています。
- 南面に壁が少なく、壁の配置があまり良くありません。
- 北西側の柱脚、土台に腐朽及び蟻害があります。

【補強方法(例)】

- 地震に対する抵抗力を大きくするため、筋かいなどの耐力壁をバランスよく配置する必要があります。
- 腐朽及び蟻害部分を補修する必要があります。

【その他(例)】

- 家具の転倒防止及び落下防止などの対策をお勧めします。
- 専門家とよく相談して補強されることをお勧めします。



お問い合わせ先

栗東市役所 建設部 住宅課 建築・施設係
TEL:077-553-1234(代表) :077-551-1943(直通)
e-mail:Kenchiku@city.ritto.lg.jp